

法然上人行狀絵図

時国心かき疵をかうぶりて死門にのぞ  
むとき九歳の小児にむかひていはく汝  
さらば会稽の恥をおもひ敵人をうらむ  
る事なかれこれ偏に先世の宿業也もし  
遺恨をむすば、そのあだ世々につきが  
たかるべししかじはやく俗をのがれい  
ゑを出で我菩提をとぶらひみづからが  
解脱を求にはといひて端坐して西にむ  
かひ合掌して仏を念じ眠がごとくして  
息絶にけり

定明逐電の、ち隠居の心しづかにして  
已造の罪をくみ当来の苦をかなしみ念  
仏をこたらずして往生の望をとぐ其子  
孫みな上人の余流をうけ浄土の一行を  
むねとせり小児たゞ人にあらず豈怨敵  
をうらむるにあらんや定明疵を被るに  
よりて跡をかくし往生を遂子孫浄土門  
に入

為

令和 年 月 日

浄写